

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	継続的に入居者様のこれからの人生の支えとなるよう支援する為、理念を基に、入居者様を尊重し、明るく笑顔で、個性のあるケアを目指し安心した家庭的奮闘気のもとで日々生活出来る支援に努めていく。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実現に向け定期的にミーティング等の際に話合う取り組みをしている。月1回～2回のミーティング等により話合いが持たれており理念に基づき日々努力している。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	2ヶ月に1回の運営推進会議(家族・町内会長・民生員・包括支援センター)会族会等で運営方針、理念を説明し話し合いを行なっている。今後も運営推進会議を継続しながら開放的な施設作りに今後も継続し努めていく。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	玄関前にはベンチ、花壇を置き、気軽に立ち寄れる雰囲気になっている。入居者様との日々の散歩、近所の商店への買い物、週1回の買い物等で出会いの場に努めている。	<input checked="" type="radio"/> 町内会の方々への声掛けや今後も散歩や買物等外出機会を増やしていきたい。近隣所の方との交流を深めていけるよう努める。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	遊歩館通信を3月1回町内会長宅にお届けし町内会で回覧して頂き施設案内に努めています。町内会に加入し総会等にも出席し、回覧板の行事の参加に努め、地域交流を深め施設行事、町内会行事にも参加し継続して行く様努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2月1回の運営推進会議において地域(町内会長、民生委員、地域包括しえんセンター)の方々と話し合った内容を職員間で共有化している。今後も日常的に話し合う機会を設け継続して取り組んでいく。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をする事で問題点を見出し、各スタッフは原点に戻り対応策の見直しが新たに出来る。継続的に職員、個々の評価を行い改善点を見出していき、職員の向上を図っていく		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議(御家族、民生委員、町内会長、地域包括支援センター)では、生活状況、行事等の報告等を行ない、参加者の方から意見等を頂いている。頂いた意見等に関しては、ミーティングの際話し合いを持ち、サービス向上に努めている。生活していく上での問題点を常に意識し、工夫を考慮している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所(介護保険課、保護課)との情報交換を密に行ない、会議、研修等にも積極的に参加を行なっている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な入居者様には利用する様支援していく。運営者、市役所関係、管理者と連携をとり話し合いを密に行っている、管理者は、成年後見人制度研修等に参加し、情報等を職員に、その都度説明を行なっている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加されたスタッフより勉強会(資料配配布)を実施し職員間で共有している。月1回のミーティング、毎日の申し送り時に社会情報等の話し合いを設けている。ミーティングの課題で徹底した職員間の話し合いを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前にご家族に十分に時間をかけ話しやすい雰囲気づくりに配慮を行い困っている事、希望されてる事を聞いている。利用契約時に重要事項説明書の説明、同意を得ている。必要に応じて市役所、医療関係との連携をとっている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時の説明、ご家族来所時に希望等を聞き、苦情受付窓口の説明を随時行っている。職員間で話し合った内容を共有し対応に努めている。相談しやすい雰囲気づくりに努め、ご意見等を頂く様に努めており今後も継続して実施していく。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	遠方のご家族には定期的に電話で状況報告を行なっている。又ご家族来所時に入居者様の日常生活への報告、病院受診時への報告、説明を行ない、面会への機会作りに努めている。金銭管理も施設来所時に報告を行い、遠方の御家族には、定期的に御報告している。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2月に1回の運営推進会議等で、御家族等に御意見、要望等を伺い、職員、運営者等とミーティングを開き検討策の話し合いを行っている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と定期的(月1回)に話し合いの場を持ち職員の意見、提案事項等を十分に聞き、改善すべき事項等は改善し反映させている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各ユニット毎の職員間で話し合い、無理のない勤務体制作りを行っている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	個々の職員との話し合いの場を設けている。法人代表とは定期的に話し合い、その都度、対応策に努め混乱等を最小限度に努めている。職員に対応法を周知し入居者様が困惑しない様に努力している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時の研修の他、定期的に勉強会を実施、個々のレベルに応じた他の機関の研修会にも受講している。スタッフの疑問等求められる事がらへの説明をしている。今後も継続し、個々のレベルに応じた研修への参加、自主的な勉強会の開催を実施していく。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北見地区グループホーム勉強会に参加し情報交換を行っている。又、研修会への参加、管理者が他ホームへ訪問したり、他ホームの管理者が当ホームに来ていたり、相互の情報交換等を行なっている。それらの事を職員間で共有している。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に相談、面談等を行ない個々の悩みなどを引き出す環境作りに取り組んでいる。又親睦会の機会を増やすように努めている	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の評価表を行い改善点を見出して行き、職員の質の向上を図っている。個々の職員の心がまえ、向上心を把握し、同じレベルに向けて個々の指導、努力を行なっている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	個々を尊重し事前に御本人の生活歴を把握し施設見学、相談時に一人一人ゆったりと話を出来る時間、雰囲気作り、要望等を叶える個別の対応に心かけている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前、入居時に御本人、御家族より相談、希望等、質問等を伺っている。、面会時等に職員より入居者様の生活様子を伝え、同時に御家族からの希望、相談を受け職員間で話し合いし共有している。継続的にご家族の意向を十分に聞き、安心していただく様、対応に勤める	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を把握し、職員間で話し合いを行い、御家族様に報告し、支援提供の努力を行なっている。必要とされている支援を見極め可能な限り対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家庭的な雰囲気、個性を受け入れた声かけ、自信を高める言葉かけをしている。今後もご家族と密に連携を保ち、いつでも話せる環境作りに配慮に努めていく		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様本人の生活暦、背景を大切にして、日頃より笑いと喜びを分かち合うよう支援し支えあっている。コミュニケーションを日々努めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会の少ないご家族には、その都度の情報、伝達の連絡を行う事に努めている。ご家族来訪時、日常の生活を報告し、支え会える関係作りを築くよう努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族とのコミュニケーションを密にしスタッフ間で把握し、対応への報告に努めている。面会に来られた時、お見送りする際、入居者様と一緒にお見送りをし御家族との関係を深めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々を大切にしていく為に御家族の情報、協力を得ながら支援、継続を入居者様共に行っていく。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士、同じ空間で過ごしレクリエーション等で関わりが増え支えあう関係作りに努めており定期的に職員同士が話し合いを行ない、より良い環境づくりを継続している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関係機関(医療、施設)家族等との連絡、面談、情報交換を実行している。十分な説明、終了後の情報提供を行い支援を継続していく。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ生活パターンを変えず、継続した生活を送って頂く。入居者様には自己決定して頂き、出来ない事への支援をしている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴情報収集を行い、継続しその人に合った生活が送れるように支援している。日々の生活記録、毎日の申し送りにて、伝達している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の申し送り、情報伝達を行い、生活記録に残し勤務者に伝えている。伝達方法を区別して誰がみても把握できる状態にしている ①生活記録 ②薬 ③看護 ④一般内容		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の希望を踏まえ職員間でミーティングを行いご家族来所時にミーティングの結果報告し、ご家族から再度、意見、意向等を聞き作成し、送付している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化時は入居者、家族、医療機関等の意向を聞き職員間で話し合い御家族様に報告をし状態に応じた随時の見直しを行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の日常生活を常に把握し毎月の会議で入居者の状況や援助内容等を話し合いを行っている。現状維持、向上できるよう努め計画作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況変化に応じ、家族様、医療機関、市役所等と連携を図り、状態に応じて法人代表との話し合いに努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2月に1回運営推進会議にて地域(町内会長、民生委員、地域包括支援センター)の方々と話し合いを行い、市役所との連携も継続し行なっている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人、ご家族の意向が発生しなかった為実施されていない。要望があった際は迅速且つ柔軟に対応できるよう援助する。運営推進会議、地域包括会議等で地域包括支援センターとの連携を行なっている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	市役所(保護課)との連携を図り定期的に話し合いの場を設けて頂いている。必要性が生じた場合、迅速に対応に努める。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の2週間に1回、月1回の往診時の報告などを密に行い連携をしている又、入居前からの医療機関等を受診し継続している方は受診時に介護添書を持参しご家族、職員付き添いにて医療機関と密な連携を保っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関、掛かりつけの医療機関からの指示、助言がもらえるように連携を図っている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	保健師1名、准看護師3名、配置し日常的に疾患、ADLの経過観察バイタル測定等にて経過観察を行い医療機関との連携を随時行っている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際は、週に1回程度病院を訪問し、医療関係者と早期退院へむけての相談機会を設けている。退院後の指示を頂き経過観察を行い、注意点等の改善策について、医療機関、ご家族と密な連携を保っている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関、家族等とは状況変化に伴い随時対応策の話し合いを行ないスタッフ間で共有している。重度化した場合や看取りについて指針を整備し、ご家族からは同意を得ている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族の意向を十分に把握し、希望に添えるよう検討し準備を整え 各関係者との協力を強化していく。職員間で共有し支援していく。	○	各関係者との協力を強化し継続する必要がある。終末期に向けその人にあったケアが提供出来る様努め支援していく。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や関係者と十分に情報交換、共有を行い、支援、相談が出来る体制を整えて支援していく。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様の生活暦を把握し尊重して日々の対応を行い支援している。個人情報については、ロッカーに鍵をかけ保存している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	自己決定できる様に配慮しながら強制せず、今何をしたいか、行動を見ながら話を引き出せるように努めている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の個性を受け入れ、その人の暮らしや、生き方を大切に出来るよう支援している。生活情報収集を行い、その人にあった生活が送れるよう支援し継続する。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容室希望される入居者様には美容室に行ってもらっている。散髪については、月一度理容師来訪され、希望に合わせて散髪されている。服装の色合いに関して褒めたり、それぞれの個性が出来るよう声掛けしている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の状態に合わせた、食べやすい盛り付け、食欲が湧く盛り付け等の工夫を一緒に考え、出来る入居者様には後片付けのお手伝いして頂いたり、出来る範囲内での支援をしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒を飲用される入居者様には、食堂にて適量を頂いている。喫煙は場所をきめ、危険のない様職員同伴のもと実施している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居時から個別排泄パターンをチェック表に記入し、それをふまえて個別に声掛け誘導介助している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、週2回入浴して頂き個々の希望に沿うよう出来る限り配慮している。当日入浴を希望されない方は後日、一定の時間内ではあるが、ご本人の希望に沿い入浴している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室の温度、外部の音、自室での休息など個別に行えるよう配慮して自宅での生活パターンを崩さず継続している。夜間不眠の方には、日中活動を多く促すなど行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を把握し入居者様が出来る範囲の役割をお願いし、できた事に対し褒める等の対応を意識し組んでいる。施設生活での楽しみ方(年代に応じた音楽を聴いたり)に配慮している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に金銭の管理は御家族様が行っており、自己管理可能な方には希望される入居者様は所持をされている。。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と近所への散歩(AM,PM/1日)や買い物(週1回)などへ出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族同伴で外出される入居者様もいる。施設での行事として外食、花見、ドライブなど計画を立て行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個別の状況に配慮しながら手紙、電話対応している。電話対応が可能な入居者様には、お手伝いしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に設定がないため自由に面会できる。共有スペースを含め好きな場所での会話が可能な環境を整えている。居室でのお泊りも希望があれば、いつでも可能である事をお伝えしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体束縛の資料を配布し身体束縛の意義をスタッフに説明し理解をしている。身体束縛を行わないよう、徹底し実践している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の施錠は行っていない。夜間(20時施錠、明朝5:30開錠)のみ通常の家と同様に施錠している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各入居者様の行動、居場所などを常に把握した上で、スタッフが行動できるよう配慮している。居室での臥床以外は入居者様が集まりやすい場所にて過ごし、職員同士で声掛け合いながら見守りしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	縫い物の好きな利用者様には、日中居室で楽しんで頂き、夜間は本人納得の上で安全の為にスタッフ預からせて頂く様配慮している。針箱の使用後は本人、御家族、確認の上保管管理している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各入居者様の生活習慣を把握し、各マニュアルを作成し随時スタッフ間で話し合い、緊急事態を未然に防ぐ為スタッフ間での話し合いを行い、再発防止に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設(保健師)での勉強会救命講習を行い即時対応出来るようにしている。緊急時マニュアルの作成し定期的勉強会を継続的に学習していく。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	H21年度にスプリンクラーを設置している。緊急時マニュアル作成、保管し随時職員が見れる状態になっている。年二回の避難訓練の実施している。定期的にスタッフ間での話し合いを行っている。	○	定期的に避難訓練等行っており、町内会長様には口頭で近隣の方からの協力も得られる様調整しているが、体制づくりまでは至っていない。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	御家族には入所時や、面会時に日頃の健康状態、生活状態を説明し家族との連携を図っている。ご家族が近郊にいない方は市役所と連携を図っている。面会の少ないご家族には、電話連絡し、状態報告している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	身体的変化があった際には、かかりつけ医療機関や協力医療機関に相談し、その都度ご家族へ連絡している。著変時は、家族への報告を行い、状態に応じて受診対応、報告をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の疾患等も確認把握を行っている。服薬している薬の内容を理解し、副作用の用法や容量に行き違いがない様に申し送りし、誤薬がないように準備段階にて名前、日付、朝、昼、夕、のチェックを服薬前の2名での確認し復唱してからの服用実施している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排尿、排便状態を排泄表で把握し、水分摂取、運動に配慮し、空腹時の牛乳の飲用、野菜ジュースの飲用と、個別の対応(下剤等の服用)を継続し便秘予防に努める。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個別の声掛け見守りし、一部介助を行い口腔ケアをしている。夕食後は義歯を使用されている入居者様に対しては、洗浄剤の使用を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様一人一人の食事量、水分量のチェックを記録している。食事の偏食、量が低下されてる入居者様には言葉かけしながらカロリー補助食品を飲用して頂いている。、水分量はチェック表を使用し不足ならない様、対応している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	基本マニュアルにて予防、対策を定めている。ミーティング等で感染症予防について話し合い、日常的に外出、毎食前に手洗い、嗽を実施している。時期に応じたの対応策も実施している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	清潔保持の為、食器は85℃の保った状態で5分間つけ置きしている。毎食後(食器、まな板、布巾、包丁)10分間、塩素ハイターに付け置きを行い、他、毎日定期的に冷蔵庫、手すり、雑巾等を消毒を実施している。食事盛付け等には手袋着用を実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ベンチを設置し、くつろげるスペースも作り、プランターなどによる花を置き家庭的雰囲気作りをしている。気軽に立ち寄れる様工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓からは外の道路状況や季節の草花や、雨、雪と季節の移り変わりを目で見て感じる事ができ、季節に合わせた飾り付けも行っている。季節の行事のならわし等をスタッフと一緒に考えて季節にあった飾り等を作っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや和室の空間があり、入居者様同士で人間関係を形成している。気の合った仲間作りも出来ている。日常的に支え合う環境作りを心掛けている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた生活用品を使用することで、安心感と落ち着いた生活をして頂けるよう工夫している。入所時ご本人の使い慣れたダンスやベット、食器等を持ち込みされて居る為、落ち着いて過ごしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入室時や状態に応じての空気の入替えを行っている。温度、湿度計を設置しチェック表に記入し温度調整行なっている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室に入居者が手を伸ばせばすぐつかまれるよう手すりが設置され自立歩行への支援を行っている。トイレ、洗面所は車イス使用に配慮されている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者さまの生活習慣を把握し、混乱等なく入居者様主体とした生活を過ごして頂けるよう個々に合わせたケアを実施し支援している。入居者様の出来る範囲ないでお手伝い(掃除、オシボリ、洗濯物たたみ)をして頂いている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑に野菜等を栽培し、畑起こしから収穫時期に至るまで入居者から教を頂いている。玄関にはベンチを置き、花を飾り和んでいる。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常的に入居者様とビデオを観たり入居者様の歌謡ショーが始まり穏やかな雰囲気です毎日過ごされています。毎日の手作りオヤツ、週1回の手作り料理には入居者様交えての料理で好評を得て居りますコミュニケーションを図る事により入居者様の身体的状況、認知状態観察がスムーズに行われており御家族様からも安心されています。